

様式第1 (第3条関係)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

XXXX 年 X 月 X 日

(あて先) 一宮市長

該当しない項目に線を引く。

住所

一宮市××町1-2-3

氏名又は名称

届出者

法人にあって

は代表者氏名

〇〇株式会社

代表取締役 一宮 太郎

提出年月日を
記入する。(郵
送の場合は、
発送日)

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 本社工場		※整理番号			
工場又は事業場の所在地		一宮市××町1-2-3		※受理年月日	年 月 日		
第5条第1項関係	特定施設の種 類				※施設番号		
	有害物質施設の該当の有無	有	☐	無	☐	※審査結果	
	△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。			※備 考	非該当の欄には、斜線を引く。	
	△ 特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る)	別紙1の2のとおり。					
	△ 特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。					
	△ 汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。					
	△ 排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。					
	△ 排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。					
△ 排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。						
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種 類						
	△ 有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。					
	△ 有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。					
	△ 汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。					
	△ 特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。					
	△ 特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。					

様式第 1 (裏面)

第 5 条 第 3 項 関 係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☒ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 1 2 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 1 3 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 1 4 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び排出の系統	別紙 1 5 のとおり。		

備 考

- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあたっては、名称)を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 1 の 2 を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当するものにレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、出来る限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限りて欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	A-1	工場において使用している番号等があれば、記入する。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型 式	貯蔵タンク（〇〇社製△△）	
構 造	ステンレス製 （構造図は資料〇のとおり）	型式、材質、大きさ等を記載し、カタログなどを添付する。
主要寸法	直径1500mm×6000mm×2基	・地下に設置されている場合には、その旨記入する ・「工場全体の配置図」と「有害物質貯蔵指定施設及び関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付する。
能 力	貯蔵量 各10000L	
配 置	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり
床面及び周囲	床面は厚さ100mmのコンクリートで、エポキシ樹脂で被覆 周囲には防液堤を設け、流出を防止（貯留量〇m3）	防液堤等について、可能な場合には容量も記入する。
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		・使用届の場合には、「設置年月日」を記入する。 ・設置・変更届の場合には、「工事着手予定年月日」、「工事完成予定年月日」、「使用開始予定年月日」を記載する。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における 施設番号	A-1	
有害物質使用特定施設又は 有害物質貯蔵指定施設 の別	有害物質貯蔵指定施設	
設 備	地上配管、バルブ、フランジ	
構 造	ステンレス製	
主要寸法	地上配管 直径200mm×50m バルブ 2箇所 フランジ 3箇所	
配 置	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事 項		
配管については、地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。 トレンチの場合はトレンチの構造についても記入すること。		
「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記入すること 「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記入すること。 「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記入すること 「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記入するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。 有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記入すること。		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）—の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	A-1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所	別紙配置図のとおり	工場全体の配置図を添付し、有害物質貯蔵指定施設の設置場所を明示
操業の系統	〇〇反応施設にベンゼンを供給	
使用時間間隔	1 週間に 1 回	
1 日当たりの使用時間	1 時間／回	
使用の季節的変動	なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	ベンゼン（〇～〇％）	
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

~~用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）~~

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	搬入：タンクローリーから供給 1 週間に 1 回、1 時間 搬出：配管をとおり、特定施設である〇〇施設に供給 連続供給、1 日 1000 L ※ 搬入及び搬出の系統がわかるフロー図等を添付する	
用途別用水使用量	用途	使用水

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

工場・事業場の概要

従業員数	350人	公害関係担当者 氏名及び連絡先	一宮 三郎 電話〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇
主な生産品	自動車部品	日本標準産業分類 細分類番号	3113

(工場付近の略図)

工場・事業場付近の略図を記載する。
最寄りの駅など目印となる建物等を記入すること。